

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年8月30日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4675400073
法人名	医療法人一桜会
事業所名	さくらのお家
所在地	鹿児島県始良市蒲生町上久徳2511-2 (電話) 0995-52-8129
自己評価作成日	平成26年7月1日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成26年8月21日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

さくらのお家は、伝統的な街並みの中の、静かで過ごしやすい場所にあります。利用者お一人お一人の生活パターンを大切にしながら過ごす中で日常的に散歩やドライブに出掛けています。また四季を感じて頂けるよう季節の食材を使用した食事の提供、花見・節分などの行事を行っています。医療面では母体のクリニックと日常的に連携を図っており、利用者様・ご家族が安心できる体制を整えています。地域との交流にも力を入れており、地域行事への参加だけでなく事業所の行事にも参加いただいたり、また緊急時の協力体制も作り上げています。利用者のみなさんが「何を求めているか」をいつも念頭に置き、一つ一つの出来ごとに共感していくことを大切に、そして主体的に生活して頂けるよう、地域の皆様・ご家族様にも協力をいただき支援しています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは、伝統を重んじる閑静な住宅地の中にある。母体であるクリニックは地域との信頼関係が十分に構築され、利用者の多くが町内の方というもうなづける。地域の自治会には開設当初から加入し、利用者や職員が地域行事に参加したり、地域の学校ボランティアの受け入れをしたり、近隣の住民が野菜を届けてくれたり、また避難訓練には地域の協力体制もできているなど、地域との連携や関係作りはできている。利用者や家族とも面会時や家族会などで、意見・要望の出しやすい雰囲気作りが出来ている。また職員からの意見・要望も管理者へは言いやすい関係作りも出来ている。利用者や職員との関係は、リビングでの利用者の笑顔からもうかがえる。事業所全体が利用者ひとり一人に寄り添って「何を求めているか」を念頭に置きながら、穏やかに個々に応じたケアが出来るようにと日々努力しているアットホームな事業所である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	ミーティングや日々のケアの中で理念に基づいたケアが実践できているかを常に話しあい、共有しながら取り組んでいる。	母体医療機関とは別のホーム独自の理念を持っている。年2回職員は自己評価シートを使い、個々の目標も決めている。日常での気付きは話し合い、理念を共有し実践に繋げている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	自治会に加入しており、地域の清掃や花見、運動会に参加し事業所の行事（夕涼み会、防災訓練等）に参加して頂いている。	設立当初から自治会へは加入しており、地域行事にも参加している。また事業所の夕涼み会やボランティアの受け入れもしている。地域の方から野菜を頂くなど日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	運営推進会議等を通じて、認知症についての話しを共有したり、介護保険についての説明を行っている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度会議を開催しており、得られた意見を生かしている。	2ヶ月毎の会議には地域代表や行政その他からの参加があり、行事報告や意見要望等を聞いたりしている。不参加の家族には議事録を配布している。家族会等と抱き合わせて会議に家族がもっと参加出来る様検討中である。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議への参加を促す形で、協力関係や理解をして頂いている。	運営推進会議へも参加してもらっている。関連のある行政担当者とは日常的な質問・連絡・相談・報告を行いながら協力関係に取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	GH内において身体拘束に関する勉強会を行い、共通認識を持ち身体拘束のないケアに取り組んでいる。法人内に身体拘束廃止委員会を設置している。	定期的な勉強会をしている。母体法人全体で「身体拘束廃止委員会」があり、報告会では事例報告をしている。法人の指針として拘束をしないケアに取り組んでいる。昼間は玄関の施錠はせずに、自由な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	具体的な虐待の映像を元にGH内勉強会を行い、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	GH内の勉強会においてスタッフとともに理解をするよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入居の際に重要事項説明書を家族に理解いただけるよう説明と同意を頂き、質問がある場合には随時受け付けている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>利用者からの不満などが伝えやすい雰囲気・関係作りをおこなっている。出された意見については随時話し合い、解決策を見出している。</p>	<p>面会時に利用者の状況報告や意見・要望等を聞きだすように努めている。出された意見・要望については職員で話し合って改善に繋げ、ケアに反映させている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>部署内会議や伝言ノート等を活用し、意見や提案を話し合う機会を設けている。</p>	<p>全体の職員会議やユニット毎の会議でサービス内容の提案や改善課題等話し合いを行っている。日常は伝言ノート（申し送りノート）を活用し、職員間で情報の共有をしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>半期ごとに面接を行い、スタッフそれぞれの思いを聞くとともに人事考課として反映するようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>月1回の院内研修、部署会議にて勉強会を行い、日々のケアに生かしている。また、外部研修にも勤務の中で参加できるよう調整している。新入職者は基礎研修を行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>GH協議会やライフサポートワークを通じた他事業所との交流、勉強会を行い、質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居前から情報を集め、入居時より不安や要望等伺う機会を作る。信頼関係を築く努力をしている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>本人様、ご家族様と話し合い、本人様の生活歴、習慣を把握し、ご家族の要望に添えるよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人様、ご家族様以外にも入居前に関わりのあった施設等より情報提供を頂き必要なサービス内容を見極めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>ミーティングや申し送りで、本人の「出来る事」を見極め、一方的なケアでなく、一緒に関わり合い、信頼関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	月1回の手紙と家族が来所された時は本人様の様子など伝え、家族からの希望も聞いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族や友人、知人が訪問されたら遠慮なく過ごせるよう居室でお茶を飲みながら過ごして頂いている。	地域行事へ参加したり、サロンへも参加している。友人・知人の訪問もある。馴染みの人や場との関係が途切れないように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	個人の話を聞いたり、相談にのったりしている。毎日の食事やお茶の時間や業務に間があれば輪に入り、会話を一緒にもつようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居は、入院や亡くなる場合で入院中のお見舞いや退院後の事など家族の相談にのっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思いを大切にし、日々の関わりの中で家族の情報を参考にし、本人本位の生活ができるよう支援している。	家族からの情報や、本人の日常の様子から支援しているが、困難な場合は表情・言動・家族からの情報等から本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人や家族から情報を聞き、今までの生活において大切にしてきた事を続けられるよう支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	利用者一人一人の生活リズム、生活歴を把握しその人にあった生活を送れるようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、家族からの要望を聞きスタッフの意見も取り入れ意思疎通の困難な方は家族より情報を収集している。	本人や家族の意向・要望に沿い一人一人にあった現状に即したプランを作成している。変化があれば見直しをし、変化がなくても3ヶ月毎にモニタリングを行い定期的な見直しを行っている。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人のケア記録に日々の様子を記録し、スタッフ間での情報共有を大切にしている。個人のケア記録は介護計画の見直しに役立っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化  本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	スタッフ間で本人に必要な事柄を話し合い、事業所・家族で可能なことそれぞれを実現するよう努めている。		
29		○地域資源との協働  一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	安心ある生活が送れるよう運営推進においては民生委員がらい所。避難訓練においては地域からの協力もある。学生の福祉体験や専門高校の実習の受け入れ、慰問による交流。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援  受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	定期受診と月に2回の在総。医療連携とも協働し、緊急時の対応も行っている。	本人・家族の希望するかかりつけ医の受診を支援しているが、ほとんどが母体医療機関である。定期受診や他科受診も支援している。検査結果報告や薬が変わった事なども家族には必ず伝えている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎朝クリニックへの申し送り、医療連携看護師による観察を行い、相談・助言を行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院した場合、医療機関・家族と話し合いながら経過をおって行っている。また、今後が不安になる家族もいるので連絡をとるよう心掛けている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重要事項説明書にて事前に説明を行い、家族に理解していただけるようにしている。家族・母体クリニックと連携を取りながら支援を行っている。	重度化や終末期に向けたホームの指針を作成し、入居時に家族にホームの方針を説明し同意書を交わしている。職員も不安なく取り組めるように、母体の看取りケア委員会にも参加している。ホームで出来る最大限の支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変や事故発生時に速やかに対応できるようにマニュアルを作成し見やすい場所に掲示している。緊急蘇生法の訓練を年2回行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>法人の他部署や地域との連携体制を作っており年2回の避難訓練を行っている。</p>	<p>年2回昼夜間想定で避難訓練を行っている。地域との協力体制も出来ており、地震訓練も行った。玄関には移動式のケースに備蓄も確保してある。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者の性格や個別性を大切にし、人格の尊重に努めている。一人ひとりのプライバシーを損なわないように対応、声掛けを行っている。	利用者に応じた言葉かけに配慮している。接遇マナーの研修会も行い、伝言ノートの活用で情報を共有し、人格を尊重したケアに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	毎日の生活の中で本人の思いや希望を表すことができるように雰囲気作りや声掛けを心掛けている。また、自己決定できるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの生活のペースに合わせて興味・関心のある事を一緒にやり、本人が喜ばれるように努力をしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	家族による支援を受けている方もいるが、実際にGHに美容室の方に来て頂きカットしている。洋服は半数の方が自分で準備され着ている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食器は本人に合わせて使いやすい物に取り替えている。食べ物は本人に合わせて盛り付けを心掛けている。	個々に応じた調理法を工夫している。お箸・湯のみ・ご飯茶碗は個人のものを使っている。ソーメン流しや弁当持参の花見で外食したり、誕生日会では献立を本人の好みを取り入れたりしている。個々の能力に応じて下ごしらえや片付けの手伝いをもらう事もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	粥食・おかず等極刻みやあら刻みなどにして食べやすいように工夫している。量にも気をつけている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個人でできる方には声掛けし、夕食後は義歯を預り、洗浄剤に浸けておく。介助にて口腔ケアを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	全利用者リハパンであり、トイレの声掛けをしたり自分で行かれる等されるので見守りを欠かさずしている。夜間はポータブルを使用している。	利用者ひとり一人の排泄パターンを職員が把握している。日中は随時に声かけでケアの統一に努めている。出来るだけトイレでの排泄ができるよう誘導して排泄の支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	運動・食事・水分に配慮している。また、状態に応じて与薬を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	概ね1日おきの入浴にしているが、体調や気分に合わせて柔軟な対応を心掛けている。	基本的には週3回体調や気分に合わせて午後からゆっくり入浴してもらっている。入浴剤を使用して楽しんでもらっている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人に合わせて安定剤を使用したり、居室の温度管理をしたり、個別的に状況に応じて支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	処方箋のファイルを作成し、職員が内容を把握しやすいようにしている。法人全体で与薬マニュアルを作成し誤薬防止に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物を畳んだり、新聞紙を折ったり、役割をもっていただいている。好きなテレビを見たり、新聞を回して読んだりされている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候・本人の体調に応じて散歩やドライブに出かけるよう努めている。	日常的に散歩や買い物、ドライブなどの外出支援をしている。年間の外出計画とは別に、個別で買い物や美容室へも連れて行っている。ホームに閉じこもらない様に外出の誘いを皆にしており、行ける人は連れて行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>数人の方は自分の所持金があり、欲しい物はスタッフにお願いされている。家族と外出された際は自分で購入されてこられる。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>利用者の状態に応じて手紙や電話を日常的に支援している。頻回な電話希望のときは家族からの着信をお願いしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ベランダには花を植えたり、畑でとれた野菜も食材として利用。歩行器・バギー使用の方がスムーズに通れる様に物を置かないように気をつけている。</p>	<p>天井が高く広いリビングはとても明るく、壁には利用者と職員とで作った手作りの作品が飾ってある。行事の写真も掲示されている。花が植えてあったり、季節の野菜があったりと五感を刺激するような、居心地よい工夫がなされている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>テレビを見れるようにソファの配置をしたり、気の合う利用者同士のテーブル席にしたりしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時に使い慣れたものを持参して頂くようにしている。配置も移動のリスクが少ないように考えて配置している。	家具は利用者の使い慣れた物である。壁には家族の写真が飾られ、利用者が安心して暮らせるよう支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室の鍵を使用されたり、トイレ後ペーパータオルが理解しにくい方の為にタオルを置いたりしている。		



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
		○	3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない